



かえでゆうびん 7月号

緊急事態宣言があげ、世の中全体が緩んできました。駅や町では人流が増え、この先どうなっていくのだろうと不安になります。なぜ路上でお酒を飲むのか？なぜ大きな声であごマスクで会話をするのか？

「命を守る」を考えるともう少し我慢できないものか、自己中心の考え方の人の多さに日本の教育もやり直さないといけないのでは？と危惧します。

人の嫌がることや迷惑かかることは、一度考えてそのまま進めるのではなく違う方法を考えたり、やりたけれど我慢したりすることが当然とした教育を受けてきた私は、毎日「え？」と思いをしかめることが多い今日です。報道ではオリンピックをすることが前提で、するのであれば対策を講じてほしいですが抽象的な案しか報道されず・・・何年か前に「お：も：て：な：し」というキーワードで望みをかけたオリンピックでしたので、2年前までは東京で行われることを心待ちにしておりましたが、今では不安でしかありません。生きているうちに日本での開催はないでしょう。せっかくの大会もこの状況で楽しみにはならない開催になってしまいました。

また、コロナ対策・コロナに立ち向かうとして保育園生活でもマスクの顔が当たり前となり、1年半が過ぎようとしています。はじめは慣れなかった顔に戸惑っていた乳児も、目だけで様々な表情を読み取れるようになってきている現状に心が痛みます。一日も早く感染症が終息しマスクなしでも生活ができることを願います。コロナだからできない・・・ではなくこのような状況でも可能であることを探し、子どもたちの経験不足につながらないように保育を進めていきたいと思えます。

オリンピックより毎日の生活を普段通りに行えるようにすることを優先したいですね。

そして顔が見える生活になった時、かえってびっくりするようなことは避けたいですね。



6月中旬から、卒園生から7月10日に予定している同園会の出欠の返事が続々と返信されてきています。ほとんどの卒園生が「行きます！！」と返信くださっています。その中のコメントに「楽しみにしています。」「コロナなのに開催してくれたありがとう」「先生たちに会えること楽しみにしています」など心温まるメッセージを書いてくれていることに感激していましたが、「卒園してもうずいぶん経ちますが毎年、同園会のお知らせをいただき、いつまでも見守ってくれることがうれしく頑張れる」というメッセージ。いつの間にかそんなことを思えるようになってくれたのか？自分のことや私たち職員へのうれしい言葉を出してくれる大人になった卒園生にうれしく頼もしく思います。

園の訪問してくれた3年生の男子。20歳になったら皆で来てね。というあと12年園長先生も頑張っていてね！と優しい言葉をかけてくれました。かえでの「ひとり一人の個性を大切に」「こどもの思いを受けとめ、共感する」という理念・方針を進めてきました。そろそろその成果が見えてきた気がします。ますます楽しみになってきました。このまま兵庫県の発症が収まり、同園会で穏やかに皆が集えることを願います。

そして、門や玄関先での送り迎えももう少し緩やかにし、少人数で室内や園庭内に入っただけのよう準備しています。

4～6月の園生活のDVDも出来上がりつつあります。順次お渡ししていきますのでおたのしみに！

6月は0・1歳児クラスを中心に夏風邪のような症状でお休みをするお子さまが多く、心配する日が続きました。RSウイルスや溶連菌、アデノウイルスでもなく、ほとんど「風邪」と診断されましたが、同じような症状が全国的に流行していたようです。

お仕事をしながらの子育ては、お子様の体調不良に仕事をセーブしないといけなくなり、段取りや対応が大変だと思います。でも、お子様が成長していく中では、避けては通れません。そこで保育園の役割は、できるだけ病気を未然に防げるよう、日々子どもたちのちょっとした体調の変化にも気づいていけるようその日の食欲や機嫌、水分量、検温での体調管理を丁寧に行っています。最近の検温では非接触の体温計を使うことが増えましたが、いつもとの違いを感じた時にはより丁寧にお子様の様子を観察し、子どもが安心できるよう保育者がそばにいることを大切にしています。

これから暑い夏を迎えます。夏の遊びを思う存分楽しむことができるよう、引き続き衛生管理や体調管理に努めていきます。

主幹保育教諭 藤森寿美

毎年この時期は、“もうそろそろ暑くなってきたね” “どんな楽しいことをしようか” と心躍らせながら夏ならではのあそびを考えます。子どもたちの弾けたような笑顔と笑い声を楽しみに、今年も子どもたちや職員で計画をしているところです。6月から開始した朝のチーズの時間、塩分補給のためにと考え取り入れています。楽しみの一つになっている子どもたちも多いようです。

ここ最近、小学生になった卒園生が、園をのぞきに来てくれることがありました。自ら声をかけるわけではなく、木の陰からじっと園庭の中をのぞいて、声を掛けてもらうのを待っているようでした。「OOくん、久しぶり！」と保育者が気づいて声をかけると、「おお」と頬が緩みそうになるのを隠しながら手をあげます。学校で何かあったのかな？と思いながらも、ふとかえで保育園に行きたいと思ってくれることが嬉しくもありました。傍を通り保育園であそびたくなったのか、職員に会いたいと思ってくれたのか、何か聞いて欲しいことがあったのか…理由は分かりません。それから何度か園にやってきてくれました。勉強のこと、休み時間のこと、おいしい給食のこと、保育園でよくしていたあそびのこと、色んな話をしましたが、数年経っても変わらずに見せてくれる笑顔にほっとしました。

かえで保育園では、園にいる間の成長はもちろん、卒園後の成長や姿を想像しながら、子どもたちとの関わりや環境を考えます。保育園に通っている間には見えなかったことも、何年か経ち、子ども一人ひとりの人生がより豊かになってくれればと思っています。“今”の子どもの想いと、保護者の方の想い、数年後の子どもの姿、子どもたちがこれから巣立っていく社会環境…様々なことを思い巡らせながら、いつでも帰ってこられる居場所をつくってほしいと思います。

副主幹保育教諭 河本彩奈

～めばえぐみ～

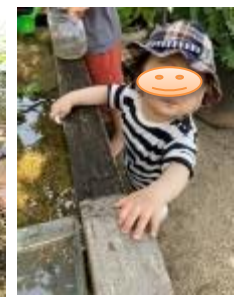
ねらい：「保育者に見守られながら、安心して様々な場所に行く」

うた：「うみ」「きらきら星」「しゃぼんだま」わらべうた：「ボウズ」「チュッチュッコ」

園庭に出てお兄さんお姉さんに名前を呼ばれると手を振ったり嬉しくて拍手をしたりと、微笑ましい様子に保育者も気持ちが温かくなります。年上の子や保育者を追いかけて、とんとん肩を叩いてみることで見守られている嬉しさを感じているようです。築山を登ることや砂場で砂や水の感触を楽しみながら日々過ごしています。目を合わせて声を掛けてゆったりした空間を過ごす中で「〇〇ちゃん拍手上手だね」「いない、いないばあしたら〇〇君、笑ってくれるよ」と子どもたちも保育者と一緒に成長を感じてくれています。

“どこに行こうかな”

春には保育者と座って草木が揺れる様子を見てゆったり過ごしていました。今では砂場やピオトープ、築山など興味のある場所に自らははいはいをしたりゆっくり歩いていくことが増えてきました。ピオトープでは水の音や流れる様子をじっと見つめています。砂場では、砂を握りしめたりぱらぱら落と



てみたり感触を楽しんでいます。大きな築山は保育者や年上の子に向かって繰り返し登っています。園庭にはまだまだ子ども達が発見して、ときめく素材がたくさんあります。日々の成長からどのようなことに興味を持つのかこれからも楽しみです。



“いろんな音”

毎週木曜日につぼみ組、幼児の体操を室内から見るのが大好きです。音楽が始まると手足をバタバタ動かしたり、揺れたり腕を伸ばしたり全身を使って楽しんだり、窓際で体操の様子をじっと見つめています。室内にはベルやボンゴ、マラカス等、様々な音が鳴る玩具を置いています。誰かが音を鳴らすと拍手をしたり、真似をしてみたりしています。園庭に落ちている石や砂をペットボトルに入れて鳴らすことも楽しんでいます。これから風で揺れる音や水の音等の自然から聞こえる音や様々な音に触れる機会をつくっていききたいと思います。



“担任の思い”

園庭や室内で一緒に過ごしているお友だちの様子を見てどうやってするのか、真似してみたいと声が聞こえてくるようにお兄ちゃんお姉ちゃんが遊ぶ様子をじっと見つめて、一緒に遊ぶこともあります。「あーあー」と声を出して教えてくれて、指を差してやってほしいことを教えて伝えてくれます。その様子は毎日の生活の中でも見られるようになってきました。食事時においしいねと目を見て笑ってくれることや着替えの時に服を脱ごうと手伝ってくれること等、子どもたちの様々な表情を見ることが楽しみでもあります。キッズノートや登降園時に話をさせてもらう中で、ご家庭での様子や日々の成長を保護者の方とも一緒に感じることができ、私たちもとても嬉しいです。

～ふたばぐみ～

ねらい：「夏のあそびを楽しむ」「“できた”をたくさん感じよう」

うた：「うみ」「おばけなんてないさ」 わらべうた：「ももや」「ココハトウチャン」

気温が高くなり、水遊びや泥んこ遊びが少しずつ盛り上がってきました。最初は汚れることをためらっていた子どもたちも、先生やお友達が遊ぶ姿を見て、汚れることを気にせず楽しめるようになってきました。汗をかいたて、泥んこになった後にシャワーをするとスッキリとした表情で心地よさを感じています。お友達との関わりもたくさん見られるようになってきました。言葉のやり取りは無くても、一つの玩具を囲み、お互いに表情を見ながら笑ったり驚いたりする様子は見ていてとても微笑ましいです。一緒にいて楽しい、嬉しいを沢山感じています。

“東三公園までお散歩”



6月は園から少し距離のある東三公園までお散歩に出かけました。行き帰りとしっかりと手を繋いで歩ける子どもも増えて来ました。全て歩くのは難しくても少し手を繋いで歩いてみようかと挑戦している子どももいます。バスやトラック、タクシーなど保育園では見られないものに出会いたくさん刺激をもらって帰ってきました。芝刈りをしている様子を見た時には興味津々に見ている子どもや、「こわい」と大きな音に驚いている子どもがいてそれぞれに違った感じ方をしていました。またグラウンドでは先生をめぐって「よーいどん」。みんな笑顔でとてもいい表情でした。これからも、子ども達の体調や気候などをみながらお散歩に出掛け、自然の物に触れて遊びたいと思います。

“モンシロチョウの赤ちゃん、こんにちは”

ふたばのお部屋にモンシロチョウの幼虫が2匹やってきました。

まだまだ小さな幼虫ですが、むしゃむしゃと葉っぱをたくさん食べている様子を観察でき、子ども達は真剣な眼差しで飼育ケースを覗き込んでいます。

「はらぺこあおむし」の本を読んでみたりして、「ちょうちょになるよ」と声をかけてみたりしていますが、きっと子ども達はまだ、あおむしからちょうちょになることが想像できていないかなと思います。さなぎになって、ちょうちょになる様子を見て、どんな反応が見られるのか私たちも楽しみです。

ちょうちょになるまでを子ども達と見届け、またどのような子どもの様子が見られたかお伝えしたいと思います。



“担任の思い”

体力もついてきた子どもたち。晴れた日には園庭で身体を動かして元気いっぱい遊びたいと思います。泥んこあそびや水遊び、暑い日には氷にも触れ、様々な感覚を楽しめたらと思います。

帽子をかぶる、ズボン脱ぐ、エプロンをつけるなど自分でできるようになったことがたくさんあります。「〇〇できたね」と言うと、嬉しそう、満足そうな表情を見せてくれます。小さなことでも“できた”をたくさん感じることで、また新たなことにも挑戦したいなという思いへ繋がるようにしていきたいです。またパブリカの栽培やモンシロチョウの幼虫など栽培や飼育なども進めながら子ども達と日々変化していく様子を楽しんで見ていきます。

～つぼみぐみ～

ねらい：「様々な感触遊びを友達と一緒に楽しむ」

うた： シャボン玉・しりとりのうた

最近つぼみ組では「〇〇くん、〇〇ちゃん遊ぼう～」とお互いに声を掛け合って遊びに取り組む姿がよく見られます。友達と一緒にいることが嬉しい様子で、日々の生活の中では同じ色の服や同じ髪形をしていると「一緒だね～」と嬉しそうにしています。園庭では友達と手を繋いで外を探索したり、水遊びや泥遊び等の感触遊びでは全身を使って楽しんでいます。ダンゴムシが苦手だった子もいつの間にか手のひらにのせて見せに来てくれるようになり、子どもたちの成長を感じる毎日です。先月植えたオクラと向日葵も子どもたちの身長を追い越し「おおきくなあれ」と言いながらみんなでお世話を楽しんでいます。



～初めてのプレーパーク～

先月の散歩が楽しかったようで、6月の散歩では初めてのプレーパークに行きました。幼児のお兄さんお姉さんと手を繋ぎ、出発する前は少し緊張気味の表情でしたが、歩き出すとしっかりと手を握ってワクワクとドキドキでいっぱい楽しそうな表現を見せてくれました。また、横断歩道ではお兄さんお姉さんの真似をして手を挙げながら渡る姿も見られましたよ。パークに着くと初めて見る遊具に興味津々で、一人ひとりが好きな遊びを見つけて取り組んでいました。木のプ

ランコでは幼児さんに背中を押してもらったり、階段のない大きな滑り台では幼児さんと協力して登ったりと異年齢の関わりを楽しんでいました。広々とした自然の中をたくさん走って体を動かしたり、草むらの探索を楽しんだり、いつもとは違う体験を満喫していました。保育園に帰ると、その日はいつもよりたくさん食べてぐっすり眠りにつく、つぼみさんでした。



～感触遊び～

天気の良い日の園庭では友達と一緒に水遊びや泥遊びを楽しむ姿が見られます。最近は泥団子作りが人気で誰か一人が作り始めると、友達のしていることに興味を持ち、「私もする～」と言って楽しそうに遊んでいます。バケツやじょうろに水を汲んで泥を作り、小さな手で一生懸命団子作る姿はとても可愛らしく、失敗しても「もういっかいする！」と何度も作り直して、砂をかけては握って固めての繰り返しを楽しんでいます。中には白くてサラサラの砂がある場所を探し出し、泥団子の作り方のコツを覚えて、丸くてツルツルな団子を作り上げる子もいます。また、作った泥団子を嬉しそうに「みてみて～」と保育者や友達に見せたりして、誰にも見つからないところに隠そうとする可愛らしい姿もありました。これからも園庭で色々な感触遊びを体験できるような環境を作り、子どもたちと共に楽しんでいきたいです。

“担任の思い”

子ども同士での関わりが増え、遊びを通して自分の思いを簡単な言葉にすることができるようになってきました。時には思いが伝わらず喧嘩になってしまったり葛藤で泣いてしまったりすることもあります。そのような経験を通して相手にも思いがあることに気付けるよう、保育者が間に入りお互いの気持ちを聞いて丁寧にわかりやすく代弁しながら見守っていきたいです。また、日々の遊びが充実していく中で子どもが出会う様々な感情に共感しながら過ごしていきたいと思います。これから暑くなるにつれて水遊びがより盛り上がるよう環境を整え、水分補給と健康状態を把握しながら夏を楽しめるよう配慮していきます。

今井 奈沙・坪金 玲奈・小城 美紗

～いびきぐみ～

ねらい：「水や泥などいろいろな感触を楽しんであそぶ」

うた：「アイスクリーム」「トマト」「七夕」

園庭で大きく実ったびわの実をひかり、だいちの子どもたちが収穫してくれ食べることができました。皮をむき実を食べると「おいしい！」とうれしそうな声がたくさん聞こえてきました。そして最近ではスイカやデコポン、みしょうかんなども登場。旬のものをおいしくいただき暑い夏を元気に乗り越えていきたいと思えます。園庭ではヤマモモの実を使って色水あそびや虫探しに夢中の子どもたちです。

“ つちねんど ”

絵画の時間が大好きな子どもたち。絵画の太田先生がこられると「きょうはなにをやるの？」と興味津々です。

「今日はつちねんどをやるよ」と大きなかたまりの粘土を見せてもらおうと「つちねんど??」と不思議そうに粘土のかたまりを見ていました。「なにいろ?」と聞くと「ねずみいろ」「グレー」など答える子どもたち。早速、手にとると思い思いに粘土を触りはじめました。ぺったんとおもちのように手のひらでひらたくした



り、ジャンプをしてぺったんこにしたり、細長くのばしたり、くるくる丸めてだんごにしていました。触ることが少し苦手そうな子も指先で触り粘土に形ができるのを見ると楽しくなり手にとることができました。そのうちあちこちから「ハート」「ピザ」「カラス」などいろんな声が聞こえてきました。「ねえ、みて」と話して見せてくれる子どもたちの表情はとてもいきいきとしていました。

“ たのしいテラス ”



幼児の部屋の外には広いテラスがあり、お昼前になるとそこは、いびき組みの子どもたちのうたや絵本、たいそうの広場へと変わります。ピアノの音が聞こえてくるとあそんでいたおもちゃを片付け、あつまってくる子どもたち。手あそびでは「ひげじいさん」おもしろいバージョンに全力で大声で笑い、「おもしろいなあ」「なんでやねん」とつつこみの声も。

絵本ではとうもろこしを干して乾燥させ一粒一粒フライパンで炒るとポップコーンができることも知りました。今、「うたをうたう」ときは感染症

対策で2Fの南側テラスでうたっています。曲が始まると全身でリズムをとりながらたのしくうたいはじめの子どもたち。「ほかほかてくてく」「みどりのマーチ」「ながぐつマーチ」などをうたっています。うたっていると子どもたちからいろいろな振り付けができあがることもあります。まだまだ、雨の日も多いかもしれませんが、テラスを活用して思いきりうたって、身体を動かし、笑い声が聞こえてくる時間を大事にしていきたいと思っています。おうちでも口ずさんでくれていたらうれしいです。



“ 担任の思い ”

暑い日が多くなり、子どもたちのあそびにも変化が出てきました。水、泥あそび、シャボン玉、せっけんあそび、またバケツや、とゆをつなげて水路づくりを楽しんでいます。カエルやカメ、熱帯魚のお世話、とうもろこしやお花の水やりなども子どもたち自身が「やりたい」という気持ちから行ってきています。自分であそびを考えたり、見つけたり「たのしむ力」を身につけていく子どもたちをみていると、とても頼もしく思えてきます。

～ひかりぐみ～

ねらい：「土、水など自然に触れて遊ぶ」

うた：「七夕さま」「ねっ せみさん」

梅雨に入り、雨の日が続いた6月でしたが、室内でやってみたいことを見つけて長い時間をかけてじっくり遊んだり、小雨のなか園庭を探検したりと楽しく過ごした子どもたちでした。

7月では夏だからこそ体験できるような遊びを楽しんでいきたいです。土や水などのたくさんの自然に触れながら楽しむことができるよう計画していきます。

“おおきくなあれ！”



じゃがいもにさつまいも、とうもろこし、ピーマン、トマトなど、今、園庭にはたくさんの野菜たちが育っています。自分のクラスが植えたもの以外の野菜にも興味を持って、毎日様子を観察しているひかり組の子どもたち。

一昨年に植えたブロッコリーからとれた種を集めて、芽が出るようにと一生懸命育てていたりして、「わたしはみかんの木

に毎日水をあげる！」「イチゴの畑ちゃん、元気かな？」と自ら役割を持って、積極的にお世話しようとする姿も見られます。

いつか収穫できる日を楽しみにしながら、毎日観察している子ども達です。

(小さいですがブロッコリーの芽が出ました→)



“テラスでお絵描き”

天気がいい日はテラスにイーゼルを出して、大きな模造紙を用意します。準備をしているところを見つけた子どもたちはすぐに駆け寄ってきて、筆やパレットなど必要な物を準備します。赤、青、黄の絵の具を出すと、色を混ぜ合わせて、ひとつの色を楽しんで描きます。

今までの絵の具あそびの経験もあってか、不思議とたくさんの色を混ぜようとするのではなく、とても優しい色で描いていきます。

大きな模造紙なので、3人や4人ずつで描きますが、「なにかきたい？」「海とかどう？」など相談してから描いています。自分がイメージしていることを自由に表現しながらも、「その色いいね！どうやってつくったの？」と互いに認め合う姿も見られ、最後には嬉しそうに「見てみて！できたよ！」と教えてくれます。

これからも自由に表現することを楽しんでほしいです。



“担任の思い”

子どもたちは楽しいこと、おもしろいことを見つける達人です。ダンゴムシがたくさんいる場所、ぴかぴか泥団子の作り方など、毎日発見したことを教えてくれます。

子どもたちの話を聞く度に今までたくさんの時間を保育園で過ごして経験したこと、考えたことが、子どもたちの心のなかにも残っているのかなと感じることが多いです。今たくさんのことを吸収して成長していく子どもたちが、毎日たくさんの不思議や興味を広げていくことができるよう関わってまいります。

～だいちぐみ～

ねらい：「友達と一緒に考えたり工夫することを楽しむ」

うた：「七夕さま」「きっとできる」

6月は梅雨の影響で雨の日が続きましたが、室内ではそれぞれが継続して自分のしたい遊びに取り組んでいました。友達と考えながら積み上げた積み木は天井に届きそうな高さまで大きくなっています。これから夏本番、室内でじっくり取り組める遊びも楽しみながら園庭では夏ならではの遊びを楽しんでいきたいです。



“みかんを買いに”

先月マックスバリュやマンダリさんまでどんなみかんがあるか調査に行ったり、図鑑で調べたり、みかんについて「知りたい！」と興味津々だっただいちさん。ある日のお昼、園長先生から「美生柑を買ってきて」とおつかいを頼まれました。だいちさんは「みしょうかんってしってるよ！」「おおきなみかんだよ！」と大張り切りの様子。今日のマンダリさんにはどんなみかんがあるかな、美生柑は置いているのかな、とドキドキしながらマンダリさんまで向かいました。マンダリさんに着くと、ぐるりと店内を1周してどんなものが置いてあるかよく見ていましたよ。園長先生から頼まれた美生柑を見つ



けた子どもたちは、頼まれた数だけきちんとお店の人に伝えて、無事おつかいは大成功に終わりました。その帰り道、「みしょうかんはどんなあじかなあ」「はやくたべたいな」と話が盛り上がりました。次の日食べた美生柑はちょっとすっぱいけどおいしい！と大喜びでした。

“おにぎり屋さん”



「みんなの好きなおにぎりはなに？」と藤森先生から尋ねられると、塩や昆布、ツナマヨや鮭、ゆかりなどいろいろな種類のおにぎりが子どもたちから出てきました。みんなの好きな具を揃えて、おにぎり屋さんの開店です。園庭に机といすを用意して、おにぎりを作る様子をワクワク



した表情で見っていました。炊飯器から出てくる湯気や温かいふっくらしたご飯に、期待が高まります。「なにをたべようか」「海苔はつける？つけない？」と話しながら、何度もおかわりをしてたくさん食べました。「おにぎりやさんのたのしいね」「とってもおいしい！」とおにぎり屋さんに大満足のだいちさん。おにぎり屋さんをしたその日から「つぎはいつおにぎりやさんするの？」とすでに待ち遠しい様子でした。また、子ども達がワクワクする経験ができるように計画していきたいなと思っています。

“担任の想い”

おにぎり屋さんでは、何度もおかわりをして楽しく食事が進んでいきます。そんな中、おかわりしたいけど「まだ全部食べ終わってないから…」とおかわりが出来ない子がいました。するとそれに気づき、「じゃあぼくは2回目だからやめとくね、たべていいよ」と優しく声を掛けてあげる子の姿がありました。声を掛けてあげた子に後から「どうして譲ってあげたの？」と尋ねると、「みんながたのしいほうがいいから」と答えてくれました。自分だけがおにぎりをたくさん食べて嬉しい気持ちよりも、他の子ども気にかけてみんな楽しんでくれる方をいいと考えてくれることを嬉しく思いました。これからもだいち組での楽しいことを経験する中で、友達の気持ちを考え、思いやり仲間意識が深まればいいなと思います。

～おてつだいですね！～

6月、プレーパークに行きました。だいち組はいぶき組と、ひかり組はつぼみ組と手を繋いで目的地まで歩きました。横断歩道で年下の友達の手を引っ張ってリードしてくれるお兄さん・お姉さんの姿が。靴が脱げてしまったら履かせてあげて、こけたら「大丈夫？」と優しく声をかけて励ましています。過去に自分が優しくされた経験が、行動に現れているのかなと感じます。



大きい滑り台に登ろうとするけれど、身長の関係でうまく登れない子がいました。助けを求めていたわけではなかったのですが、困っている友達に気付いた子がやってきて「押し上げようか？」と、押し上げて登るのを手伝っていました。手伝ってもらった子は「ありがとう」とお礼を言って嬉しそうに頂上から見える景色を見渡していました。

～おもしろいね～

園庭に出るとじゃぶじゃぶ池で水遊びや、ダンゴムシ探し、鉄棒を楽しんでいます。だいち組はいぶき組が遊んでいるのを見て、「何しているの?」「一緒にダンゴムシ探そうよ!」と年上のお兄さんお姉さんから、年下の子どもに声を掛け、遊びに誘う姿が見られます。



反対に、年下の子どもが年上のお兄さんお姉さんに、「ぼくもやりたい!」「どうやったら上手に逆上がりができるの?」と声を掛けて一緒に遊ぶ姿も。またいぶき組から始まった遊びでも、気付けばひかり組、だいち組が混ざったグループになっていることも。年齢問わず、みんなで集まり、楽しめています。時には、気持ちの行き違いで言い合いになることもあります。そんなときは、子どもたち同士で考えて話し合ったり、遊び方やルールが間違っていたら、「こうしたらいいよ!」と楽しく遊べるルールやおもしろい遊び方を教えたりしています。気持ちが通じあい、楽しい発見があると、お互いとても素敵な笑顔が見られ、微笑ましく感じます。

年齢が違うからこそ、子どもたちは新しい遊び方を発見したり、共有したりすることができたり、年下、年上の子どもと一緒に遊ぶことの楽しさを感じています。そんな経験をたくさん積み重ねることができるよう、これからも子ども同士の関わりをそっと見守っていきたいと思います。

“担任の思い”

周りの友達を気にかけている場面を見かけることが増えました。泣いている友達がいたら「どうしたの?」と優しく声を掛け、「これどうぞ」と涙を拭くためのティッシュを持ってきてくれたり、怪我をした友達がいたら声をかけに行ったりと相手のことを思って行動しているなど感じます。異年齢を通じて、遊びでも一緒に考えたり、話し合ったり、面白いことや楽しいことを共に見つけていける関わりを大切にしながら、これからも思いやりの心を育てていってほしいです。今月は水や泥にたくさん触れて、ひんやりした感触や素材を生かした遊びを広げていきます。

～職員からのメッセージ～

子どもが静かにしている時は大抵やめて欲しいことをしている時で、1歳になった娘はおしりふきや服など綺麗に全部出してくれます。疲れている時には笑って見られないこともありますが、そんな時に出会った本に“子どもが何かに強く興味をもち、集中して同じことを繰り返す時は、その動作などを習得したくて行っている時”とありました。確かにイタズラに見えることをしている時の子どもは集中力がすごいですよね。“モンテッソーリ教具100”という本にはそんな子ども達が好きな遊びを100均の物等を使って簡単に作れるおもちゃが沢山載っていて面白いです。モンテッソーリ教育をしようと意気込んではいませんが、子どもが集中して楽しく遊んでいる姿をみると面白いです。兄も皿洗いや洗濯など大人のようにやることがやりたくて仕方ありません。時には大人からすると面倒に感じることもありますが、やりたい気持ちを大切に、いろんなことに挑戦させてあげたいと思います。

福井 真由子

～お父さんからのメッセージ～

今春から、めばえ組に双子を通わせています。かえで保育園では、双子の園児は初めてと聞いています。我が家にはまだ2歳の上の子がいることに加え、なんととっても同月齢で2人を時に育てるので、何事につけて十分に構ってやることができず、小さいころから一人遊び、否、二人で遊ばせていることが多かったように思います。かえで保育園に入って、保育士の先生方に遊んでもらい、めばえ組のお友達や上級生を見て活発に遊んでいるようです。生まれた時から一緒に相方がいる安心感か、入園直後もあまり泣いたりせずになんか新生活を楽しんでいたと聞きます。

先日は、自宅のカーテンに1人が隠れて「いないいないばあ」を、もう1人に見せているところを見かけました。いない、いないばあは、するのも見るのも大好きな2人ではありますが、見せられた方がケタケタ笑っているのを見て、ちゃんとお互いが遊び相手になっているんだ、とホッとしました。家では、片方が寝ているときを除けば、親と遊ぶ時もいつも2人一緒。私が両脇に1人ずつ抱っこして、膝の屈伸をしたり、起き上がりこぼしのように上半身を倒したり起こしたりといった運動をする「パパ遊園地」は2人のお気に入りです。彼らがいつも寝ているベッドに入っていくと、2人でニコニコして寄ってきてくれます。ただ、大きな口を開けて笑っていると思ったら、腕や足にかみつかれることもあります。すると、さっきまでかわいい息子たちがニコニコ笑顔で駆け寄ってきていた様子が、大口を開けて襲い掛かってくる小型肉食恐竜に見えるようになるからおかしなものです。2人一緒、だけでなく、上の子を含めて3人一緒に相手をするときも少なくありません。むしろ上の子はおしゃべりできるだけに要求が多く、上の子のリクエストに応えながら、双子も楽しませることを心がけています。先日は上の子が読んでとせがむ絵本を、双子も含めた3人に読み聞かせしました。双子たちは絵本に興味を持つとページをつかんで破ってしまうので、手が届かないソファの背もたれに絵本を広げ、つかまり立ちで見つめる双子たちも楽しめるように絵を指さしたり、大ぶりの仕草で読みました。妻は「絵本劇場」と呼んでいます。上の子に読んであげた絵本と比べると、ごくわずかな回数しか読んでいませんが、少しでもこういう機会を多くとってあげたいと思います。

子育てで最も大変な、衣食住のお世話をほとんど分担してくれている妻にはいつも感謝しています。これから双子が歩くようになり、できることが増えてくると、ますます手がかかるようになるでしょう。賑やかで大変な日々はもうしばらく続きそうですが、精いっぱい楽しもうと思います。

保護者の方からのお話コーナー

この前まで相撲部部長だったはずなのに、今は野球部に所属しているそう。「お迎えも遅くがいい！だって野球やサッカーして遊びたいもん!!」だそう。「早くお迎えに来て」と言っていたのも今は昔。卒園まであと少し。かえででの時間も満喫してほしいです。

だいち組 みずえさん

今年度から新人の方がお二人増え、娘が人見知りしないか不安でしたが、毎日楽しそうに保育園のお話をしてくれるので安心していきます。お昼ご飯の好き嫌いがたくさんありますが、工夫してくれていて助かっています。ありがとうございます。

つぼみ組 まりさん

最近、日常のルールを少しずつ理解し始めている息子。朝、お兄ちゃんが検温カードを持ってくると、体温計を指差し、家族全員の検温を指差し点呼！

誰か自分の見ていないところで検温していても、自分で検温を確認しないと気が済まない毎日。わが家の検温奉行には誰も逆らえませんが、真面目なこだわり屋さんです。(苦笑)

いぶき組 ゆうこさん

だいちになり、逆上がりに夢中の娘。周りのお友達の刺激もあり、手にマメを作りながら、連続逆上がりに挑戦しています。

手が痛くて「やらんところかな…」と迷いながらも「今日も頑張るからバンソウコウ貼って!」「練習したいから早く保育園行こう!」と毎日張り切っています。年長さんになり、目標をもって頑張る姿に成長を感じています。残り1年、色んなことにチャレンジしてほしいです。

だいち組 ゆみこさん

保育園で覚えてきたお歌をお家でたくさん歌ってくれます。今は「ドロップスのうた」がブームで、振り付けも披露してくれます。

ひかり組 ゆきさん

4月からふたば組になり、少し言葉数も増えたり、歌を歌うようになったり、急にできるようになったり、びっくりです！まだまだ赤ちゃん、と思っていましたが、保育園でいろんなことを経験し、成長しているのだと日々実感しています。

ふたば組 あやねさん

☆お台所より☆

日に日に日差しも強くなり夏本番になってきました。子どもたちは汗をかきながらもしっかり水分補給をし、元気いっぱい遊んでいます。暑くなると食欲が落ちてしまいがちですが、食べやすい調理法にしたり、旬の食材を取り入れたり、今月もおいしいごはん・おやつを作っていきます。

～こんなことがあったよ～

☆さくらもち

6月3日のおやつにさくらもちを出しました。

園長先生がさくらの新葉を塩漬けしてくださった“さくらの葉”を使用しました。

ごはんを少し潰し、粘りを出し、つぶあんを中に包みました。そして塩抜きしたさくらの葉を巻いたら完成！厨房内にさくらの葉の良い香りが充満していました。

子どもたちも「なんだかい匂いがするよ～」「美味しそう！」と食べる前からわくわくしてくれている様子でした。あんこが苦手な子はきなこおはぎに変更し、さくらもちを食べているおともだちの中で、さくらの葉までも食べている子もいてびっくりしました。たくさんのおかわりがおかわりをしました。用意していた分、すべて完食しました。



☆梅ごはん

6月8日のおひるごはんに“梅ごはん”を出しました。こどもたちの中には、酸っぱいものが苦手な子で、梅ごはんはあまり食べてくれない子が多いかな？と心配していましたが、想像以上に好評で、たくさん食べてくれました。だんだんと本格的な暑さになってきて、暑さに身体がついていけない日が多くなりました。そんなときにさっぱりとした梅を食べることで、夏バテ防止になったり、疲れた身体を元気にしてくれる効果があります。一粒に健康パワーをたっぷり含む梅を食べて、こどもたちと共に夏を乗り切っていきたいと思います。

～7月の献立 旬の食材～

夏野菜がおいしい時期がやってきました。園庭でもトマトやピーマン・とうもろこし・じゃがいも・さつまいもが大きく育ってきました。7月の旬の食材は、なす・トマト・ピーマン・とうもろこし・きゅうり・スイカ・ゴーヤが登場します。なすを使った「豚肉となすの炒め物」やゴーヤを使った「ゴーヤチャンプルー」など、どんどん夏野菜を使っていきたいと思います。おたのしみに！



～今月のお誕生日会メニュー～



お誕生日会のメニューはみんな大好き、「鶏のから揚げ」を作りました。みんな美味しそうに食べていて、おかわりもたくさんしてくれました。そして誕生日ケーキには今年初のメロンをのせました。生クリームとの相性はばっちりでした。

～お知らせ～

2歳児クラスのお子様は、既にご家庭でマヨネーズを食べていると確認できましたので、今までは代替え手作りドレッシングで提供していましたが、7月の献立よりマヨネーズの提供を開始します。また、マヨネーズが食べられないお子様は引き続き個別に対応します。

栄養士 廣田 恵 坂口 未奈美



★お願い★

- *7月から9月にかけて職員が休暇を取ります。
- *コロナワクチン接種による体調不良で職員が急に休む場合があります。保育が手薄にならないよう配置していきます。
- *7月7日(水)は七夕祭りをを行います。幼児クラスのみ浴衣を着て登園ください(乳児は通常通り)。(浴衣をお持ちの方のみで構いません)。
また、浴衣以外の装飾は必要ありません。
毎年恒例です。笹は松秀幼稚園から頂き、園内に飾ります。飾った後7日には夕方お渡しします。ご自宅で飾って楽しんでください。
もう1本の笹でそうめん流しをします。

こんなことしたよ♪

園庭になっているピワやヤマモモの実を収穫しました。緑色だったピワが暖かくなると共に山吹色に変わっていることに気付いた子どもたちが「おいしそうな色になった!」と教えてくれました。収穫したピワはみんな、ヤマモモはだいちで美味しくいただきました。



6月のお誕生日会ではバブルアートを披露しました。シャボン液に絵具を入れてカラフルなシャボン液を作り、それをブクブクと息を吹き込んで泡を作ります。コップからあふれてきた泡をヘラなどですくい、真っ白なキャンバスに滑らせると素敵な絵が完成しました。色の変化や不思議に大喜び!これを機に今年も色や土、水など様々な素材に触れ、発見したり観察したりしながら保育を進めていきます。



- ・緊急事態宣言が解除されましたが、感染症防止対策を緩めることなく生活していきます。
- ・日々の体調管理を重視し、保護者の方の仕事がお休みの場合は家庭保育をしてください。
- また、休暇・自宅での仕事の場合は必ずお知らせください。
- ・降園時、間隔を空けてお待ちいただいておりますが道路にはみ出し、長い立ち話をご遠慮ください。感染症が落ち着きましたら徐々に園にも入館できるようにしていきます。しばらくお待ちください。
- ・お子さまの清潔を保つためにシャワーを開始しています。毎日身体拭きタオルの持参をお願いいたします。必ず、袋・タオルに名前を書いてください。
- また、水遊びや泥あそびをすることが多くなります。パンツを含め、多めに着替えの用意をお願いします。
- ・幼児パンツの貸し出しはありません。不足の時は買い取りとなります。次月の諸費で請求させていただきます(1枚300円)。
- ・登園時のレインコートは保育園で預かることは出来ません。お持ち帰りください。

7月の予定

感染症の状況で中止する場合があります

- * 7日(水) 七夕まつり
- * 10日(土) 同園会(1年~6年まで)
- * 16日(金) そうめん流し(予定)
- * 19日(月) 月例健診
- * 21日(水) 誕生会
- * 毎週木曜 体操
- * 14・30日(水・金) 絵画

8月の予定

*8月10日~17日 夏季保育

- ・1号認定の方はお休みとなります。
- ・できるだけ家庭保育にご協力お願いします